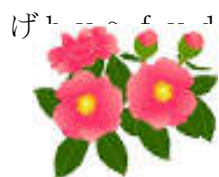


進路だより

埼玉県立三郷特別支援学校
進路指導部 No. 1 1
令和元年11月28日(木)



働くことを経験して

～ 現場実習の取り組み ～

今回の実習では、1年生は初めての校内実習を行いました。また、2年生は初めて現場実習を経験した生徒、3年生は卒業後の進路に直結した実習になった生徒も数多くいました。

実習先の御担当者様、保護者の皆様、御協力ありがとうございました。

10・11月現場実習先（今後実施予定の実習先も含む）

＜施設＞ 14施設 24名			
所在地	実習先（略称）	事業種	実習内容（職種）
三郷市	NEXUS三郷駅前	就B	ブリザードフラワー製造、内職
	カルディアみさと	就労移行	パソコン作業、軽作業、実践業務
	みどりの風	就B	パンの製造、プレート洗浄、清掃
	コンパス	就B（3名）	製品袋入れ、シール貼り、パン販売
	しづき	生活介護（3名）	型抜き、シール貼り、ボールペン検品
	ラ・ポルタ	就労移行（3名）	ワークサンプル、軽作業
八潮市	いちご	生活介護（2名）	キャップの分類、バリ取り
	クリスタルサービス八潮	就A	軽作業
	メーティスひだまり工房	就B	プラスチック製品の加工作業
	虹の家	就B（2名）	リサイクル品の分解
	やまびこ	就B	消しゴムの組み立て作業
吉川市	ひだまり	自立訓練（2名）	清掃、運動、レシート収集
草加市	ウェルビー草加駅東ロセンター	就労移行（2名）	パソコン訓練、ビジネスマナー、軽作業
野田市	COCORO	生活介護	運動、農作業

※ 実習とは別に、就労移行支援事業所での就労アセスメントも3件実施しました。



就労移行支援事業所
ワークサンプルを行なっています。計算が終わるまでの時間を自分で計っています。



就労継続支援B型事業所
パンの包装袋へ製造元のシールを貼っています。

＜企業＞ 21企業 24名			
所在地	実習先（略称）	業種	実習内容（職種）
三郷市	西友 三郷センター	小売業	倉庫内仕分け
	丸和運輸機関 三郷営業所	運輸業	マットたたみ
	三栄興業 上リサイクルセンター	サービス業	リサイクル品回収
	イトーヨーカドー ららぽーと新三郷店	小売業	品出し、袋詰め
	ケイエス産業	製造業	製品組み立て
	ダスキン 埼玉中央工場	サービス業	マットたたみ
	コープデリ三郷センター	運輸業	倉庫内運搬
	カスミ三郷駅前店（2名）	小売業	品出し、商品整理
	松屋 三郷店	飲食業	調理補助
八潮市	ケーティーシー	製造業	化粧品容器組み立て
	大阪デリバリー 埼玉事業所（2名）	運輸業	袋詰め、衣類たたみ
	SOMPOケア ラヴィーレ八潮	福祉事業	施設内清掃
	fairy tale いちご	サービス業	放課後デイ補助
吉川市	B. FACTORY 吉川美南	食品製造	パンの製造、レジ補助
	しまむら吉川南店	小売業	レジ補助、衣料品整理
	イオン吉川美南店（2名）	小売業	品出し、加工
	ガスト吉川店	飲食業	調理補助
	ライフ吉川栄町店	小売業	品出し
春日部市	タイヤショップ ZERO 春日部店	小売業	タイヤ運搬、倉庫整理
柏市	メイテックビジネスサービス柏事業所	製造業	紙すき関連業務
流山市	スポーツデポ南流山店	小売業	商品整理・運搬

敬称略



大手スーパーの品出し作業
商品の見栄えをよくするために、商品の向きを正面に揃えています。



大きな物流センター内での運搬作業
いろいろな商品を配送先の各カートごとへ仕分けしています。

進路だより

埼玉県立三郷特別支援学校
進路指導部 No. 14
令和2年1月10日(金)



企業の考え、保護者の願い

～就労支援アドバイザー講演会～

先般開催された就労支援アドバイザー講演会では、講師の小林章彦氏（元佐川急便東京本社人事部御担当）から、障がい者の就労にあたり、企業目線から必要なスキルや心がけ等を、詳しくお話しいただきました。以下の講演会の内容と保護者アンケート結果をご覧ください。

【講演会内容】

・進路決定に関する基本姿勢

現実（児童・生徒の実態）を見て進路を決定していく。**企業就労だけが全てではなく**、学校と協力しながらベストマッチの進路を選択する。現状だけでなく、将来のこと、いわゆる『親亡き後』の生活について考えることも必要となる。

・障がい者雇用の現状

企業就労は法定雇用率が上がっており、障がい者にとっては追い風。ただし現場の受け入れが追いついていない。障がい者雇用は大企業ほどコンプライアンス（法令遵守）、社会的責任が構築されていて進んでいるが、中小零細はなかなか進展しない。雇用率が高い企業は障がい者理解が進んでいて、仕事の切り出しや環境の整備に積極的に取り組んでいる場合が多い。また、特例子会社による雇用も進んできた。一方、障がい者の正社員雇用は現実的に難しいが、**ハードルの高い就労は前途を閉ざしてしまう可能性もある。**

・周囲の支援

就労はゴールではない。就労後も生活支援・就労支援は必要。生活支援は保護者の協力が必ず必要になる。新卒採用が全てではなく、随時採用したい企業も多くある。定着支援は企業、学校、就労支援センターと家庭が協力しながら行なう。**本人の弱みは有効な支援を得るためにオープンにすべき。**



得るためにオープンにすべき。

作業スキルよりも**作業に臨む姿勢のほうが重要。**元気で明るい挨拶や礼儀がスキルと同等以上に重要である。

公共交通機関を使えるようになることで、就労先の選択の幅が大きく広がる。現実的には難しい面も多いが、本人にとってベストマッチを常に考えて進路選択に臨む。**本人の能力を過大評価も過小評価もしない姿勢で支援する。**

・保護者の質問への回答

今から（小学部から）取り組めることとして、**家庭でのテーマ(仕事・手伝い)**を設定して作業に取り組む経験が大事。そのためには保護者の支援や姿勢が重要になる。

進路先の選定は、担任や進路担当と相談しながら進めることが必要で、情報を共有して実習先、やがては就労先を決めていくこと。就労先で困ったときは、先方の担当者、障がい者就労支援センターの担当者、元担任と協力しながら対応することが肝要である。

【保護者アンケートより】

・小1 （進路に関する話題は）まだ先のことかと思いましたが。現状を聞くことができてよかったです。これからすべきことをお教え頂けたので、生かしていこうと思います。

・小1 企業就労は先のことですが、そこを目指して家庭でできる手伝いなど、一人で行えることを増やすように教えていきたいと思いました。

・小2 企業側の率直な現状も聞くことができてよかったです。あいさつなどは改めて家庭でも意識していきたいです。

・小4 講演会に参加してよかった、の一言です。1時間半、濃い時間でした。企業の現場の率直なお考えを聞くことができ、就労に向けて子どもが準備すべきことがよく理解できました。機会がありましたら、また小林先生のお話を聞きたいです。

・小6 貴重なお話をありがとうございました。まだ先のこと・・・と思わずに親として今から準備を進めていってもよいのだと思いました。またこのような機会がありましたら聞きたいと思いました。

・中2 コンパスさんでボランティアをされているということで、本校との関係が決して遠くはない方からお話が聞くことができよかったです。

・高1 小林先生は声の大きさやスピードもゆっくりで、とても丁寧で聞きやすかったです。企業の率直なお考えをお話くださり、とても参考になりました。

・高1 企業の障がい者雇用について知らないことはかりでしたが、いろいろなお話を聞くことができよかったです。障害者といっても知的と身体、どちらの雇用が増えているのか。また、企業はどちらを雇いたいのか知りたいです。

・高1 一般企業の障がい者雇用枠が多くなってきているので、まずはそこを目指して親子二人三脚で頑張ってみようと思いました。

・高1 初めて講演会に参加しましたが、就労についていろいろなことが分かり、勉強になりました。子どもにとって一番よい環境の場を探せるように、先生方と企業の情報をもっと勉強していきたいと思います。

・高2 現場実習に参加しましたが、うまくいったりいかなかったりです。マッチングが大事なことも十分に理解していますが、不安は大きいです。先生のお話はとてもわかりやすくよかったです。

・高2 現場実習に参加しましたが、いまだに子どもに合った就労先が決まらずあせっていましたが、お話を聞いて卒業後でもいいのだと少し安心しました。今日のお話を生かして子どもと一緒に探していきたいと思いました。

・学部不明 長年にわたり障がい者雇用と人権啓発に携わってこられた小林先生だからこそ、企業側の厳しくも率直なお考えや、保護者側に立っての親の思いなど、中立的な視点でお話を聞かせて頂き、親としてすべきことを改めて考えさせて頂く貴重な時間になりました。

